

新高通信



第 1 1 号

秋田県立新屋高等学校

—それぞれの折り返し点に立って—

ももさだの丘から眺める太平山や雄物川近郊の風景は、すっかり秋の気配漂うものとなりました。

季節の移ろいととも、学校の諸活動もちょうど折り返し点を迎えました。それぞれ前期を振り返り、自らの成長の足跡を確認しつつ後期に臨む目標を高く掲げて、一步を踏み出してもらいたいと思います。



校訓披露式を挙る

去る 7 月 4 日制定された「校訓」の披露式が、10 月 13 日、本校体育館にて執り行われました。校長の式辞の中で、この度新たに礎石を据えられた校訓碑と体育館正面に掲げられた扁額が紹介されました。

礎石は、男鹿半島の安山岩の自然石で、舟形の末広がりなす形状は、本校の末永い発展を示唆するかのようです。また扁額は、本校教諭 根義鎮先生の揮毫によるもので、行書体の持つ品格と躍動感あふれる書体は、鑑る人の内面に力強く迫るものです。

続いて、来賓の方々からお祝いのお言葉を頂きました。高橋昌一氏からのお言葉の中で、新屋高校草創期からの逸話が紹介されました。今から去ること八十数年前、「新屋地区に高等学校を！」という地元の強い要望が高まり、県への働きかけがなされて以来、ようやく昭和 59 年着工にこぎ着けるまでのご苦労が伺われるお話でした。

多くの人の願いによって創設された母校の歴史の重みと「校訓」に込められた思いを在校生一同深く心に刻みつけたことと思います。



来賓の方々：高橋昌一 武藤真作 安宅春美 阿彦正道 菊池幸子 小松隆之
徳田ちか子 の各氏 <敬称略>

第 1 回学校評議員会を開催 —新高の今後の方向性を模索—

第 1 回学校評議員会が、5 名の評議員の出席で、7 月 22 日（水）開催されました。

当日は夏期休業日初日にあたり、夏期補習に勤しむ生徒の様子を見学していただいた後、応接室にて学校長および各部主任より学校概況について説明いたしました。協議題は「本校が『地元の学校』を目標に学校づくりを進めてきた中で、創立 30 周年を展望し、これからの学校のあり方はどうあればよいか」について、それぞれの立場から忌憚のないご意見を頂きました。

その中で「もっとボランティア活動に力を入れる」「生徒の自信とバイタリティを育成する」「進学校としてのアイデンティティを確立させる」「学校の現状を知ってもらうため広報活動に力を入れる」など、これから本校の目指す方向性を示唆する貴重なご提言を頂きました。



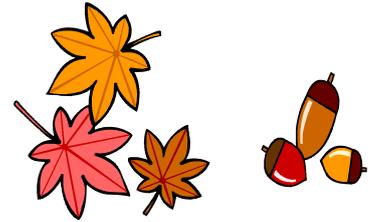
学校評議員の方々：渡辺鉄哉 阿彦正道 菊池幸子 安田欽一 嵯峨透 <敬称略>

夏の各種大会の報告

- <陸上部>
- ・秋田県陸上選手権大会
走高跳 第3位 **目黒 亜弥**
 - ・秋田県民大会
走高跳 第3位 **目黒 亜弥**
 - ・中央支部新人陸上大会
8種競技 第1位 **右谷 直人**
やり投げ 第2位 **佐々木 秀仁**
三段跳び 第2位 **右谷 直人**
走高跳 第1位 **目黒 亜弥**
 - <水泳部>
 - ・全県総体
200m自由形 第2位 **小玉 将太**
100mバタフライ 第2位 **小玉 将太**
200m自由形 第2位 **上島 美咲**
(県大会新記録)
400m自由形 第1位 **上島 美咲**
(県新記録)
 - ・東北大会
400m自由形 第5位 **上島 美咲**
(インターハイ出場)

- <女子テニス部>
- ・県民体育大会
ダブルス 第3位 **原田千夏・佐々木瞳**
 - <弓道部>
 - ・県民体育大会
総合男子団体 第2位
近的男子団体 第1位
近的男子個人 第1位 **三浦 昂平**
第2位 **斉藤 優人**
第3位 **加藤 洋平**
遠的男子団体 第1位
近的女子団体 第3位
近的女子個人 第1位 **大塚 真衣**
 - ・全国高校総合体育大会
男子個人 第7位 **三浦 昂平**
 - <野球部>
 - ベスト4
 - <吹奏楽部>
 - 全日本吹奏楽コンクール
 - ・中央地区大会 高校の部 金賞
 - ・秋田県大会 高校の部 金賞
 - ・東北大会 高校の部 金賞

- <文芸部>
- ・俳句甲子園
全国高等学校俳句選手権大会
東北地区大会 5年連続 優勝
最優秀作品賞 **石塚 啓一**
 - ・伊藤園お〜いお茶俳句大会
都道府県賞 **石塚 啓一**
佳作特別賞 **揚出 紗也夏**
伊藤 美穂
佳作 **加藤 綾香**
 - <書道部>
 - ・全県高校書席大会
第1位 **小林 孝奈**
第2位 **佐藤 歩**
第3位 **榎 早紀**



☆ 各大会を終えて ☆

7月20日に行われた県大会準決勝の本荘戦。全員が全力を尽くしたものの、5対1で負けてしまいました。決勝進出という目標は達成できませんでしたが最高の仲間と過ごした最高の夏でした。

皆さん、応援ありがとうございました。

野球部主将 3年 **菅原雄大**

今年のインターハイでは、全国大会も慣れていき、周りの雰囲気にも惑わされずレースに臨む事ができました。自己ベストには及びませんでしたが、次に繋がる良いレースができました。

水泳部 2年 **上島美咲**

岩手県で行われた東北大会に出場し、金賞を受賞することができました。全国大会出場は逃してしまいましたが、満足のいく演奏でした。応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。来年は全国にいきます！！

吹奏楽部部长 3年 **関根信郎**

インターハイの団体予選で18中というトップでしたが、決勝トーナメント1回戦で惜敗、個人戦では7位入賞という成績でした。私がこのよう成績を取める事が出来たのは、先輩方の指導のおかげです。来年もインターハイに出場出来るように頑張りたいです。

弓道部 3年 **三浦昂平**

進路指導部より「模試の結果等について」

1年部：昨年から、1年生は、最初の2回の試験については、全員受験をする方針になり、前年度との比較ができるようになった。入学直後のスタディサポートでは、昨年に比較して国語が悪く数学は良いという結果だったが、今回の試験では、英数国とも昨年を上回る成績であった。模擬試験の結果をふまえ、授業はもとより、ノート作り指導や添削などで弱点を強化している。

2年部：A、B、C組の生徒は原則全員、D、E組の四大志望者を対象として実施し、昨年より若干多い118名が受験した。各科目とも、基礎基本が定着していない生徒が多く、基本的な問題を取りこぼしている生徒が目立つ。3教科総合でも上位層がやや薄い印象であり、全体的な底上げとともに、上位層の育成も課題と言える。

3年部：入学時の偏差値が学年を追う毎に下降していく傾向が見られる。今年度、数ヶ月後に本番を迎え

る3年生に対しては教科毎の個別指導等で対応し、次年度以降の進学希望者に対しては家庭での学習時間の確保を早期から呼びかける必要がある。

* * * * *

「希望から決意へ」

三年部主任 **福川 悦子**

新屋高校の三年生として過ごす期間も余すところ半年弱となり、進路の目標地点への確かな着地のために、各自が着々と準備を進めています。各々中に十分な風をはらませたうでの着地であってほしいものです。

自分の道は自分で切り拓くしかありません。頼りになるのは自分のやる気と行動力です。

進学・就職・公務員と目指す道は異なりますが、失敗を恐れず、大胆にChallengeする196名が百三段から飛び立とうとしています。